

浪江町中心市街地 検討委員会(第1回)・職員検討会(第1回,第2回)・町民座談会の 議論のまとめ

新町通り

(1) 新町通りの資源
①伝統文化(野馬追祭、はだか祭り、など)
②イベント(十日市、緑のフェスティバル、など)
③浪江小学校
④中央公園、新町ふれあい広場
⑤空き地、空き店舗、空き家

(2) 課題 + 方向性
商店の経営が成り立つモデルケースの確立
浪江らしさを感じる空間づくり(イベント・歴史)魅力的な商店の再生参加が必要

(3) 新町通りに必要な取組案

イベントの復活や個人商店の再開。	愛着のある旧施設の活用。	屋台営業。
114号線との交差点に休憩所を設置。	駐車場の整備。	回遊路の整備。
ソフト事業とハード事業が必要。	統一された外観。	行政と地元との協働。
歩道のセットバック。		
デマンド交通を活用した利便性の向上。	一方通行の導入。	

平時は休憩所、憩いの場となり、イベント時は会場となる公園が必要。
→きれいなトイレ、噴水、池、イルミネーション、ベンチ、木陰

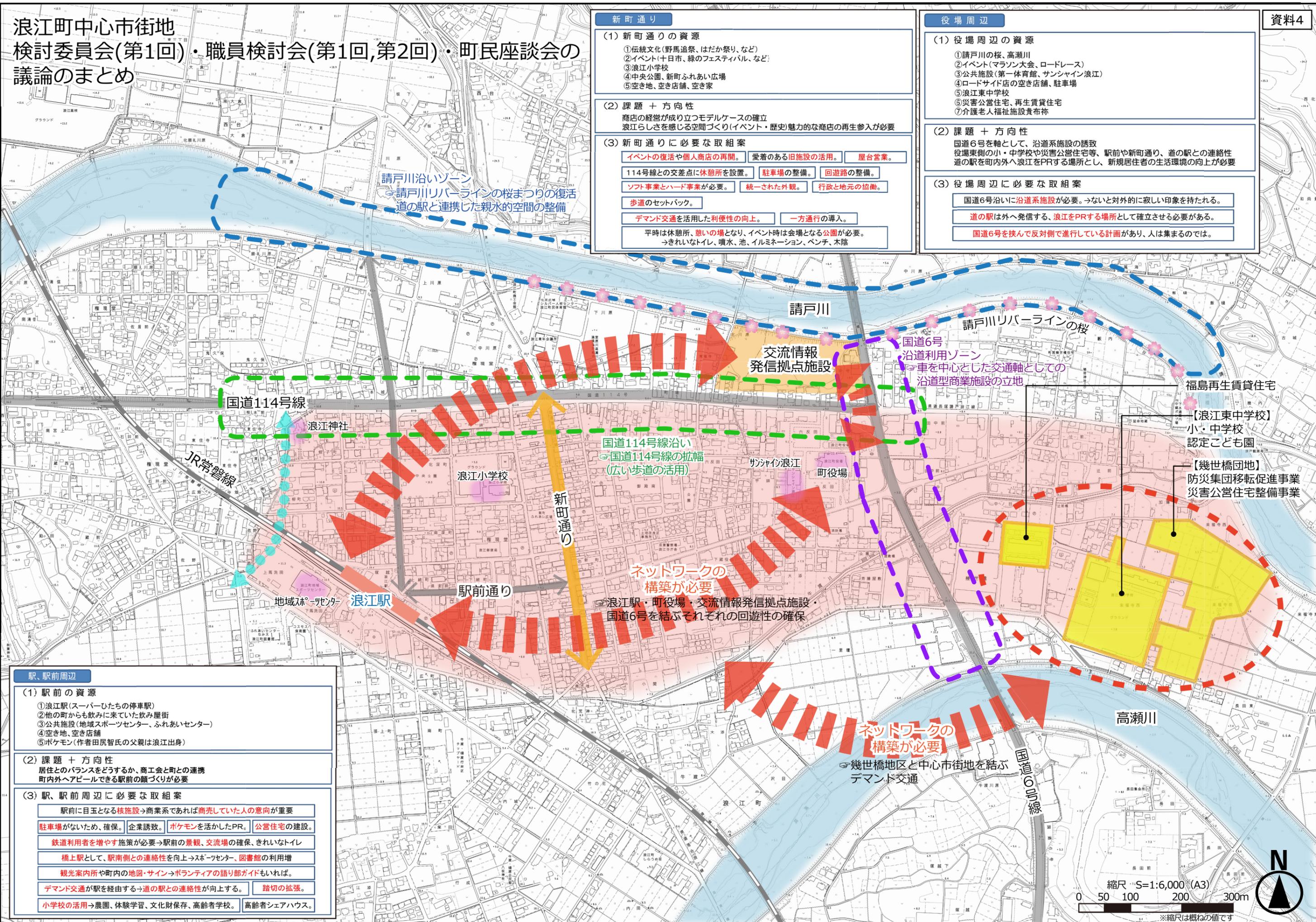
役場周辺

(1) 役場周辺の資源
①請戸川の桜、高瀬川
②イベント(マラソン大会、ロードレース)
③公共施設(第一体育館、サンシャイン浪江)
④ロードサイド店の空き店舗、駐車場
⑤浪江東中学校
⑥災害公営住宅、再生賃貸住宅
⑦介護老人福祉施設貴布祢

(2) 課題 + 方向性
国道6号を軸として、沿道施設の誘致
役場東側の小・中学校や災害公営住宅等、駅前や新町通り、道の駅との連絡性
道の駅を町内外へ浪江をPRする場所とし、新規居住者の生活環境の向上が必要

(3) 役場周辺に必要な取組案

国道6号沿いに沿道施設が必要。→ないと対外的に寂しい印象を持たれる。
道の駅は外へ発信する、浪江をPRする場所として確立させる必要がある。
国道6号を挟んで反対側で進行している計画があり、人は集まるのでは。



駅、駅前周辺

(1) 駅前の資源
①浪江駅(スーパーひたちの停車駅)
②他の町からも飲みに来ていた飲み屋街
③公共施設(地域スポーツセンター、ふれあいセンター)
④空き地、空き店舗
⑤ポケモン(作者田尻智氏の父親は浪江出身)

(2) 課題 + 方向性
居住とのバランスをどうするか、商工会と町との連携
町内外へアピールできる駅前の顔づくりが必要

(3) 駅、駅前周辺に必要な取組案

駅前に目玉となる核施設→商業系であれば商売していた人の意向が重要
駐車場がないため、確保。企業誘致。ポケモンを活かしたPR。公営住宅の建設。
鉄道利用者を増やす施策が必要→駅前の景観、交流場の確保、きれいなトイレ
橋上駅として、駅南側との連絡性を向上→スポーツセンター、図書館の利用増
観光案内所や町内の地図・サイン→ボランティアの語り部ガイドもいれば。
デマンド交通が駅を経由する→道の駅との連絡性が向上する。踏切の拡張。
小学校の活用→農園、体験学習、文化財保存、高齢者学校。高齢者シェアハウス。